



くろべ水の少年団

くろべ水の少年団
指導者協議会会長 能澤 祐一

指導者：能澤 祐一・西田 五郎
本崎 洋子・本村 雅宏

発表児童：5名



くろべ水の少年団は、黒部川扇状地が平成4年に「全国名水百選」に指定されたのを機に誕生し、今年で19年目を迎えている。団員は市内11小学校の5・6年生の希望者31名によって結成される。主な活動は黒部川を中心とした水環境を調べ「水のはたらきや大切さを理解し、水を愛する心」を育てている。発足以来730余名の先輩達も名水黒部の里に深く根を下ろし、水環境を守る活動を推進している。少年団も23年度には20周年の節目を迎える。

発表テーマ

『黒部川の水環境を調べる』

- (1)黒部川の上・中・下流部の水環境や水生生物による水質調査の結果について発表します。
- (2)黒部川本流から分かれた吉田川の水環境や水質を調査し、黒部川本流と比べた結果を発表します。
- (3)荒俣海岸での海浜植物や立山の水環境調査について観察・体験から学んだことを発表します。

本崎 洋子 先生より

黒部川とその支流の水環境調査活動を通して、地域のよさを再発見する子どもたち

市内11小学校から31名が入団し、水質調査や自然観察、川や海岸の清掃を行っている。「見る・触る・遊ぶ」などの全身で動きかける活動を行う中での観察・調査を重視してきた。黒部川と北アルプス源流での定点調査は毎年行ってきたが、昨年からは扇状地を流れる身近な支流にも目を向けて調査をしている。また北アルプス源流の雪と水を比べて酸性雨に関心をもった子供達がいたことから今年はその観点からも調べてみた。グループで試行錯誤しながら測定をしたり、小さな発見や予想外の結果を出し合ったりして楽しみながら活動している。結団20周年を迎える来年度に向けこれまで蓄積してきた調査結果も加えて比較検討をしたいと考えている。



◀6月13日(日)結団式・吉田川調査実習
結団式の後、吉田川の水生物や水質の調査を行いました。



▲7月4日(日)荒俣海岸清掃・海浜植物調査・愛本堰堤見学
雨の中みんなで協力して清掃活動をしました。また今年は、農業用水を取り入れる愛本堰堤や合口用水の見学をしました。



▲8月3日(火)北アルプス自然環境調査
美女平では立山杉の大きさにビックリ!
弥陀ヶ原には高山植物が沢山あり、自然でいっぱいでした。



▲8月9日(日)黒部川水生物などによる水質調査(上・中・下流部)
黒部川はとてもきれいな川だということがわかり、
いつまでも守っていききたいです。

考えたこと！感じたこと！



少年団での活動をふりかえって

藤井 謙成(6年生)

僕はくろべ水の少年団で2年間水質調査が出来たことをうれしく思います。黒部川では、上・中・下流部で水生物などによる水質調査を行いました。見つかった生き物はきれいな水にすむものがほとんどで、水がきれいな所だと実感しました。立山では、みだか原を歩いて自然にふれることも出来ました。立山の玉殿湧水を飲んでみたところ、僕は黒部の水のほうがおいしいと思いました。黒部には沢山の湧水があります。黒部は水に恵まれている所なんだなと思いました。沢山の先生方から今まで知らなかった水環境、水の歴史などを教わり感じたことは僕にとっての宝物になりました。この経験を生かし黒部の自然を残していく活動をしたと思います。

学習テーマの設定

31名の団員で活動開始

創立19年目のくろべ水の少年団に、市内の小学5・6年生31名の団員が集まりました。6月13日の結団式から8月29日の修了式まで、5日間の活動をしました。



黒部川(上・中・下流部)水生物などによる水質調査 (8月9日)



立山から海まで調べる

活動場所は立山、黒部川の上流から下流まで、支流の吉田川、そして荒俣海岸です。結団式で観察用具の使い方や水質の調べ方の実習、修了式では活動内容と調査結果のまとめをしました。

学習の展開

トロッコ電車で上流へ

上流部の調査は宇奈月駅からトロッコ電車で黒部峡谷沿いに約1時間、鐘釣の川原で行いました。生きものはきれいな水にすむものばかり! 水質階級Ⅰの「きれいな水」と判定しました。



今年も黒部川はきれい!

中流部は内山地内で、下流部は四十八ヶ瀬橋の少し下流で調査しました。その結果、今年も黒部川の水は上・中・下流とも水質階級Ⅰの「きれいな水」と判定しました。いつまでもきれいであってほしいと強く思いました。

吉田川を調べると…

黒部川の扇状地を流れる吉田川にはヒルなども見つかり、水質階級Ⅱの「少し汚れた水」と判定しました。田畑から市街地の用排水路を流れている間に水が汚れたのではないかと予測しました。



海浜植物や立山の水環境について 立山海浜植物と海浜植物調査 (7月4日) 清掃美化活動



海で山でいろいろ観察

最も下流の荒俣海岸で清掃と、海浜植物を観察しました。弥陀ヶ原と室堂でも自然環境を調べ、標高が違う植物の様子に驚きました。今年、雪の大谷の水の疑問として出た酸性雨の影響なども調べていきたいです。

発見がいっぱい!

実際に調査して、たくさんの発見がありました。ほかの学校にも友だちがで、さまざまな先生から教わったことも楽しかった! これからも黒部川を大切に観察し、水を守っていきます。

